

一般社団法人 日本創造経営協会  
第52回 創造経営研究大会

主催：一般社団法人日本創造経営協会 後援：公益社団法人全日本能率連盟  
株式会社創造経営センター  
監査法人薄衣佐吉事務所  
税理士法人大和  
株式会社ソウケイ・ハイネット

本年、日本創造経営グループは創立78年を迎えます。世界に目を転じれば、地政学的リスクの高まりと経済の分断が進行し、先行きの不透明感是一段と深まっております。かかる時代にあつてこそ、「共生共益の社会」を志向する経営の重要性は、ますます高まっていると言えるでしょう。

本年のテーマは「令和における日本的経営の創造～未来を拓く事業創造～」であります。「動態連続生命観」に基づき、日本独自の経営モデルの探究と、三代75年を超えて持続的に進化してきた創造経営の実践に光を当ててまいります。

第一部では、イマムラグループより、「職人の地位向上と人づくりを通して、事業創造をし続けるグループ経営ーベトナム事業が国内成長を支えるー」をテーマにご発表いただきます。同社はこの10年、事業の多角化と新たな価値創出により飛躍的な発展を遂げてこられました。内装事業を基盤に領域を拡張し、新会社の設立やM&A、さらには海外展開を通じて企業群体制を築いてこられた歩みは、「事業を創り続ける経営」の体現と言えます。本発表では、その根底にある人づくりの思想と実践、並びに持続的成長の本質について、貴重な示唆が示されるものと確信しております。

続いて、税理士法人西田経理事務所の西田氏より「悲喜転換と使命感の覚醒」と題し、ご発表いただきます。創業75年の歴史と幾多の困難を乗り越えてきた家系の歩みに触れる中で、自らの原点と使命を見つめ直し、四代目として受け継ぐ責任と未来への決意を深めていかれました。親祖先への感謝と受容を通して、人としての在り方と使命感を問い直す発表です。

本大会が、皆様の経営実践における気づきと学びの場となり、生活者経済を志向する未来づくりの一助となることを願っております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

一般社団法人日本創造経営協会 理事長 中村 邦則

「令和における日本的経営の創造」ー未来を拓く事業構想ー

日時：令和8(2026)年9月18日(金) 12:30 より開演

(11:45開場、12:15配信開始)

終了時間：リモート参加 17:00、リアル参加 18:00

会場：経団連会館「2階 国際会議場」

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2

TEL：(03) 6741-0222

FAX：(03) 6741-0233

会場参加は、250名限定で行います。

会場参加は13,200円(税込)、リモート参加は無料、となります。

会場参加、リモート参加いずれも事前登録が必要となります。

※会場参加の方には、後日、請求書をお送りさせていただきます。

# 「職人の地位向上と人づくりを通して、事業創造をし続けるグループ経営」

— ベトナム事業が国内成長を支える —

## 〔イマムラグループ〕

株式会社イマムラ

取締役会長  
代表取締役社長  
常務取締役  
常務取締役

今村 徳廣・恵美子  
小柳 敏幸  
今村 徹矢  
柳 透

株式会社ディック

IMAMURA INTERNATIONAL VIETNAM

株式会社フジタクラフト

代表取締役社長  
代表取締役社長  
代表取締役社長

蛭川 貴弘  
岡田 大輔  
藤田 一治



㈱イマムラ  
会長 今村 徳廣



社長 小柳 敏幸



常務 今村 徹矢

日本創造経営グループはこれまで、「新たな日本的経営システムの構築」と「参加型経営への転換」こそが、企業の持続的成長を支える重要な要素であると提唱してまいりました。本研究大会では、その実践企業としてイマムラグループ様にご登壇いただき、その歩みと経営実践についてご発表いただきます。

イマムラグループは、昭和59年、会長が内装工事業を創業されたことからスタートしました。

創業初期には倒産の危機という大きな困難に直面しながらも、それを乗り越え、「人づくり」と「事業づくり」を両輪として経営を推進され、現在では年商40億円規模の企業グループへと成長を遂げておられます。その成長の根幹には、「職人の地位向上こそが企業の使命である」という強い理念があります。その理念のもと、大工・内装仕上げ・木工家具などの分野において、職人育成を目的とした専門会社を3社設立し、人材育成を中心に据えた経営を実践されてきました。

さらに、ベトナムからの技能実習生の受け入れを進める中で、帰国後の活躍の場を創出するため、ベトナム現地法人を設立。現地市場への展開を進めるなど、グローバルな視点からも事業領域を広げておられます。

内装工事業という本業を深く追求しながら、より高い付加価値を提供するため、一括工事請負業へと業態転換を図っています。さらにM&Aを通じて、デザイン・設計・電気工事などの機能を強化し、グループとしての総合力を高めてられています。こうした持続的な成長サイクルを支えているのが、グループ一体となった創造経営教育システムによる人材育成です。後継者群は創造経営大学校で学びを深めながら、次なる100億円企業を目指し、新たなビジョンを描いています。

今回のご発表では、創業世代から第二世代へと事業承継が進む中で、どのように創業精神を継承していくのか。また、環境変化に適応しながら、どのように本業を深化させ、新たな事業開発へ挑戦していくのかなど、多くの示唆と学びに満ちたご発表となりますので、ぜひご期待いただき、ご堪能くださいますようお願い申し上げます。



㈱イマムラ  
常務 柳 透



㈱ディック  
社長 蛭川 貴弘



IMAMURA INTERNATIONAL VIETNAM  
社長 岡田 大輔



㈱フジタクラフト  
社長 藤田 一治

## 「悲喜転換と使命感の覚醒」

税理士法人西田経理事務所

浦和事務所所長（専務社員税理士）

西田 多嘉浩

今回ご発表いただく西田氏は、創業 75 年を迎える税理士法人西田経理事務所の四代目を継承していく立場にあります。

事務所は昭和26年に埼玉県熊谷市で創業し、平成28年には埼玉県さいたま市浦和区にも拠点を広げながら、税務のみならず経営助言を通じて地域企業を支え続けてきました。

西田氏は大学校入学当初、組織の責任者の一人として事業拡大に携わり、一定の成長を実感する一方で、受容力や人に任せる力、「待つ力」に課題を抱えていました。また、仕事中心の生活によって家庭や健康とのバランスも十分ではなく、自らの家系や両親への理解も浅い状態でした。

そのような中、西田氏は家系調査分析に取り組み、自らの家族や祖先の歩みを深く見つめ直していきます。

父方の西田家は、江戸時代から商いを営み、時代の変化に応じて蘭仲買商から税理士業へと転換してきた家系でした。その過程では、倒産や戦争、家族の死など数多くの困難に直面してきましたが、それらを受容し、人や社会に尽くす使命へと転換してきました。一方、母方の荒木家は四百年以上続く地主の家系であり、その背景には女性たちの深い受容力と献身がありました。曾祖母は、夫の事故死や農地解放による財産喪失などの苦難を受け止めながらも家族と家を守り続けました。

西田氏は、こうした両家の歩みに触れる中で、自分自身が多くの犠牲と愛情、そして積み重ねられてきた徳の上に生かされていることを実感していきます。

さらに、両親から事務所再建当時の苦悩や支え合いの歴史を涙ながらに聞いたことで、自分が親の苦勞に無関心であったことを深く反省されました。そして、人の苦しみに寄り添い、この家と事業を未来へつないでいくことこそが、自らの果たすべき使命であるとの自覚へとつながっていきます。

本発表は「悲喜転換と使命感の覚醒」と題し、親祖先の歩みを通して自己を見つめ直し、感謝・受容・共感を深めながら、人としての在り方と使命感を確立していく実践が語られます。

苦難を使命へと転換してきた家系の歴史と、その歩みの中で自らの存在意義に目覚めていく姿が示される発表です。



# 一般社団法人日本創造経営協会 第52回創造経営研究大会

<スケジュール> 国際会議場 (12:30~18:00)

## 創造者表彰

事例研究発表 「職人の地位向上と人づくりを通して、事業創造をし続けるグループ経営」

— ベトナム事業が国内成長を支える —  
株式会社イマムラ 取締役会長 今村 徳廣

代表取締役社長 今村 恵美子  
常務取締役 小柳 敏幸  
常務取締役 今村 徹矢  
代表取締役社長 柳 透  
代表取締役社長 蛭川 貴弘  
代表取締役社長 岡田 大輔  
代表取締役社長 藤田 一治

株式会社ディック  
IMAMURA INTERNATIONAL VIETNAM  
株式会社フジクラフト

## 発表

「悲喜転換と使命感の覚醒」

税理士法人西田経理事務所

浦和事務所所長

(専務社員税理士)

西田 多嘉浩

## 創造経営研究大会 総括

日本創造経営グループ 議長

一般社団法人日本創造経営協会 理事

森田 雅美

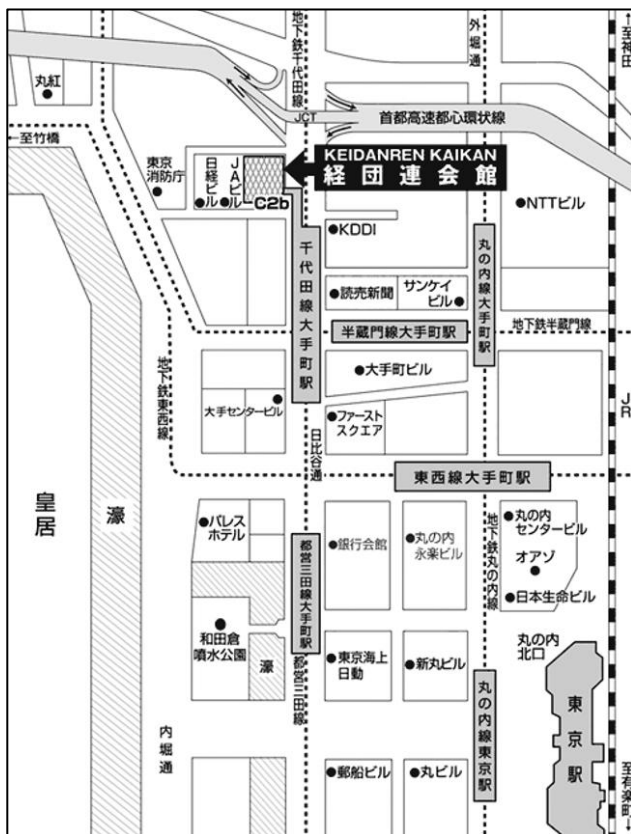
## 質疑応答

※リモート参加者については、17:00 終了となります。

参加費：13,200円 (会場出席者)

※リモート参加者は、無料

## 会場案内 (経団連会館)



東京メトロ千代田線・半蔵門線  
・丸ノ内線・東西線・都営三田線  
「大手町」駅下車 C2b 出口直結

## 第52回創造経営研究大会

### へのお申し込み方法

- ① 同封されております、「日本創造経営協会第52回創造経営研究大会 出欠通知」にご記入の上、FAXにてお申し込みください。
- ② または、スマートフォンでQRコードを読み取りご出欠をお申し込みください。  
「第52回創造経営研究大会のご参加申込サイト」に接続します。



### ■お問い合わせ先：

一般社団法人日本創造経営協会  
創造経営研究大会事務局 (担当：押田)

〒113-0033

東京都文京区本郷 2-10-9 富士ビル

[TEL] 03-3816-1451

[FAX] 03-3814-1933